

消息

オーストラリア国を含めアジア研究が盛んにな
立大学現代中国セン つていますが、日本の方ほど
ター客員教授として うでしようか。オーストラリ
の二年のキャンベ アの片思い、の感じが強いで
ラ生活を終 え、このほ ど帰国し た。

外交の多元化を



(東京外語大教授)

「私にと
つて未知の
世界でした
が、それだ
けに忘れ得
ぬ体験を積むことができまし
た。オーストラリアでは七〇
年代に入って、アジアの一員
の意識が強まり、日本、中国

中嶋嶺雄氏

すね。もつ
と外交の多
元化が必要
だと思いま
す」と南半
球からみ
た北半球に
ついて語
る。

「中ソ対立と現状」(中
央公論社)が近く発刊の予
定。